

コンサルタンの現場から

第90回

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタンの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で聞き取ったことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

重点を絞る

総花的な計画では何もできない

経営計画を拝見すると、総花的に、あれもこれもという計画になっていることがある。ある意味、抜けの無い計画になっているとも言えるが、このような計画は本当に実行できるだろうか。

画では、結果、中途半端な取り組みしかできないことになってしまふ。限られた経営資源をどこに使うか

限られた経営資源をどこに使うかが経営だ。言い換えると、どこに重点投資するか、どこに重点配置するかを考へるのが経営者の役割ということだ。そのためには、やるべきことが、常に順位付けされていないといけないという事だ。

真に実行しようとすれば、莫大な経営資源(人やお金)が要ることになり、その経営資源の確保はどうするのだろうかというふうなことになる。このような計画

もし、順位付けが適切にできていなかったら、どういふことになるだろうか。例えば、今、多大の不良を出してお客様に納品ができないという事態になってくる時に、来年の商品をどうするかの検討を優先したらどういふことになるだろうか。来年、いくら良い商品を発売できることになっても、その前にお客様の信用を無くし、取引そのものが無くなってしまうという事になりかねない。事業そのものの存続の危機にもなりかねない事態を招くことになる。

流石に、このような馬鹿げた判断をする経営者はいないが、取り組むべき事項の優先順位が適切につけられないと、大変な事態を招くことになるか、ねないという事だ。

適切な戦略立案と実行

経営は、経営環境の変化や自社の経営課題を踏まえて、目指すべき方向と打つべき手を明確にし、その実現に向けて経営資源を重点配置すること、戦略を実現していくこととなる。

もし総花的な取り組みになっていざ、そこには戦略がないという事であり、真にやるべきことが明確にできていない可能性が高い。重点的にやるべきことを明確にする、それを実現するための経営資源の重点配置をしてこそ、初めて戦略を実現できるのだ。

優先順位は変化する：迅速な経営判断も重要

経営環境は常に変化化する。また、課題が突然発生することもある。先ほどの例のように、予定していない不良が急遽多発というふうなことは、いくらでもある。一度、順位付けをしたので、そのままではよいということにはならないのが経営なのだ。変化に対し、チャンスや課題を捉える目を養うと共に、常に迅速的確

な順位付けを行い、指示するのが経営者としての腕の見せ所なのだ。重点を絞るには止めるものを指示することが大切

ところで、優先順位付けを適切に行っても、やるべきことに重点を絞るためには、それは止めよと指示することも大切だ。これができないために、部下はあれもこれもやらなくてはならないというケースは多い。例えば、先の例であれば、先ずは不良対策に全力を注ぎ、来年の商品検討は一旦止めよという指示をすること

バンコクエアウェイズ エアバスA320型機を新規導入



タイ初の民間航空会社であるバンコクエアウェイズはこのほどエアバスA320型機を新規導入。スワンナプーム空港で受け渡し式が行われた(写真)。

座席数162席の同機は国内線・国際線双方で使用。国内ではチェンマイ・プーケット・クラビ、海外ではミャンマー(ヤンゴン・マンダレー)・カンボジア(シェムリアップ・プノンペン)・インド(ムンバイ)・バンダラシユ(ダッカ)などに投入される。バンコクエアウェイズは現在35機を保有している。

止めることを指示せずに、これは重要事項だ。「早くやれ」だけでは、指示された方は、来年の商品検討もやりながら不良の対策も急がなくてはならないということになり、いずれも中途半端ということになる。

止めることを指示するには勇気がいる。しかし、これができるこそ、取り組みを指示した事項がいかに重要なのかを皆に理解させることもできるのだ。

止めよと思いつて言うことも忘れないようにしたい。

サイコム・ブレインズ UBCL

日系企業のための人材育成プログラム：公開講座と無料説明会/相談会のご案内

異文化適応トレーニング

グローバルビジネス推進のための「異文化理解と適応スキル」の習得

講師：河島 久枝



日本人赴任者向け 1日コース

2017年3月10日(金) 6・8・10月も開催予定

開催時間： 9:30-17:00

受講料： 6,500バーツ

(昼食および異文化アセスメント受診料込み)

※本講座は日本語で行います。

- 参加対象者
- ・タイ人とビジネスをしている日本人赴任者
 - ・人事・人材開発部門の方
 - ・異文化間のコミュニケーションに関心のある方

タイ人社員向け

1日コース

2017年5月26日(金) 11月も開催予定

開催時間： 10:00-16:00

受講料： 4,500バーツ(昼食付)

※本講座はタイ語で行います。

- 参加対象者
- ・日系企業で働いているタイ人社員
 - ・日本人とビジネスをしているタイ人
 - ・人事・人材開発部門の方

人材育成プログラム

無料説明会 相談会

タイにおける日系企業の人材育成の現状と課題、効果的なソリューションの事例をご紹介します。

講師：ステイー・パナワーン/河島 久枝/地紙 厚



2017年2月17日(金) 開催時間：14:00-17:00

参加費：無料 ※本講座は日本語で行います。

- 参加対象者
- ・現地法人の経営層の方
 - ・人事・人材育成の責任者/ご担当者
 - ・営業部門の幹部社員およびマネージャーの方

お問い合わせ

CICOM BRAINS UBCL CO., LTD.

บริษัท ไช้คอมเบรนส์ ยูบีซีแอล จำกัด

68/27, North Sathorn Road, Silom, Bangrak, Bangkok 10500, Thailand (Inside UBCL Co., Ltd.)

プログラム詳細はこちら▼

www.cicombrains.com/CB-UBCL/

E-mail cbubcl@icicombrains.com

TOKYO +81-(0)3-5294-5576 (日本語)

Bangkok +66-(0)82-671-8574 (タイ語、英語とも対応可)

CICOM BRAINS UBCL CO., LTDとは

2008年から日系企業のタイ人管理職を対象とした公開講座「タイ人管理職育成プログラム」を、タイ国立マヒドン大学経営大学院(CMMU)との提携により運営している日系の研修会社。グローバル人材育成の分野で20年にわたる実績を持つ。